



平地方面にて数日めつきり暑くな  
り道行く人の服装はもう本格的な  
真年度、キャンチーやアイスクリ  
ームが珍らしく見れ、水撒き車が走  
り、風船の音が涼床を誇るなど、  
どこかで「夏夏夏」の今日こ  
時も開心の高くなる水道はどんな  
ものが平市役所水道課で調べてみ  
た。

平市内の水道は好間川からの表流  
式で給水する八幡小路の第一水  
源地と伏見の武の錦田山第二  
水源地の二カ所から給水して  
いるが水道を運用している戸  
数は全三百、一日の使用量は  
第二水源地が七千五百立方メー  
トル、第一水源地が三千立方メー  
トル、石数にしてさつと五十  
石に満て八升の水が毎日使われ  
る計算となり七月八月の真夏に  
あると萬立メートルを越す  
ようになるが、好間川が涸れし  
ても錦田山の第二水源地は川底が  
乾き水を供給する伏らう法をとつ  
てほんとう無理に近い水量が  
あるので断水は絶対にないと同  
識で太政判を押している。

水庄は田町附近が二・五キロ、高  
丸は三・五キロから一・五キロ、高  
丸は三・五キロから一・五キロと  
その高低によって多少違うが  
普通一キロの水圧があれ  
ば一階や三階でも水压が下り下  
りると〇・五キロから一キロ  
と土地の高低によれて多少違うが  
普通一キロの水圧があれ  
ば一階や三階でも水压が下り下  
りると〇・五キロから一キロ

## 平、一日使用水五十二石 夏を迎えて水キキンなし

演題 きまる

夏期大学の

演題 きまる